

この会派報は政務活動費を活用して発行しています

観光

働くお母さん支援

農の資源を活用

定住促進

活動報告

次の10年に向けた
意見募集

人口減少 しても 元気と安心を守るために



SNS／動画

子育て支援

インバウンド

生涯活躍

歴史文化活用

元気な地域経済

市名ブランド活用

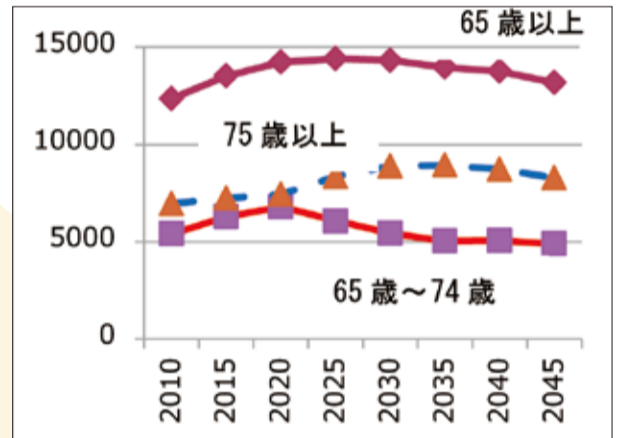
国際理解

地域福祉

◆わたしたちの活動の視点

大切なのは人口減少よりも社会の変化に対応することです。今が踏んばりどころになります。

今年あたりを境に、地域コミュニティや地域経済を下支えしていただいている65～74歳代の数が減少してきます。このため、歴史や慣行を大切にしながらも、地域コミュニティの運営の方法や地域経済のありかたも柔軟に見直していく時期に来ていると考えます。そして、ひとりひとりがより活躍しやすい環境を整えていくことで、元気な丹波篠山市が継続できるように活動しています。



市の人口推移 (社人研データより:人)

◆活かせる資源とチャンス

地域経済の
縮小を
観光で補う

本市一番の強みは、「丹波篠山」のプラスイメージと豊かな人の絆があることです。そして、これらの核となる資源に魅力を感じる人々は着実に増えてきています。このため、本市の魅力に触れて関わりを持っていただく人を増やしていくことが大切です。特に大阪万博はチャンスにできるでしょう。

若者
女性
外国人

新しい発想で多様な働き方をする若者、子育て中またその経験を持つ女性は本市の宝です。また、外国人の増加はまちの元気につなげることができます。

私たちは、チャンスを活かせるように、規制の緩和を求めたり、応援の仕組みをつくったりする提案を行っています。

◆これまでの主な提案

一般質問

市名活用 渡辺拓道

市は、経済効果やブランド向上により市民生活を豊かにすると市民に約束してきた。「市名変更はスタート」の言葉のとおり、早急に戦略を組んで具体的な取り組みを開始すべき。特に人口減少対策へ観光に力を入れまちに関わる人を増やすべき。

【実績】戦略に意見が反映され、作成スピードが速まりました。(裏面参照)

一般質問

子育て 吉田知代

保育士や放課後児童クラブ指導員等の処遇改善で保育士不足解消を。産後検診を充実させて「産後うつ」の不安解消を。

【実績】保育士給与 月額5,000円アップ 他時給アップ、児童クラブぱれっと空調設備改修。産後概ね1ヶ月に受ける産婦健康診査の費用のうち、1回5,000円を超える分に支援開始。令和2年度より産婦検診の補助回数が2回に拡充。産後2週間検診も対象に。

一般質問

共生社会 吉田知代

外国人の方が安心して暮らせるように、ゴミの分別や医療機関受診等相談などのサポートが必要。また、多くのベトナム留学生が市内で学んでいる。文化交流や観光振興に役立ててはどうか。

【実績】令和2年度より指定ゴミ袋裏面に5か国語表記開始。令和2年秋に、ベトナムフェスティバル開催へ。

指摘・提案

草刈軽減 渡辺拓道

元気な農業がまちの活力の基礎、営農で最も課題となっている草刈りの負担を新しい技術や規制緩和で軽減することが大切。

【実績】草刈り応援隊設立補助金設立。作業軽減のための総合的な検討が職員プロジェクトを中心に始まりました。

◆ ブランド戦略、観光戦略の案が提示されました

去る1月28日に開催された産業建設常任委員会において、丹波篠山市からブランド戦略と観光戦略の案が提示されました。この戦略の案が改善されまちの指針となります。私たちは、年度末の制定に向けて皆様の提案も組入れながら改善をもとめていきます。5年・10年後の元気なまちにつながる戦略になるよう、ご意見・ご提案をお願いします。

活動報告

次の10年に向けた
意見募集

丹波篠山まちのブランド戦略(案・ポイント)

- 「人々の暮らしそのもの」を丹波篠山ブランドとする。
- ブランドイメージで市民のまちへの愛着と誇りを高める。
- 丹波篠山に訪れたり関わりをもつ人を増やすためにブランドを活用する。
- ブランドコンセプトは、「『丹波篠山』だからこそ実現できるあなたの夢・希望・未来」とする。



一以・維新の感想

丹波篠山暮らしそのものをブランドとすることに問題はないが、市名変更時の約束、市名ブランドで市民の暮らしを豊かにする内容が弱い

市農都創造部の事業基本方針(案・ポイント)

- 農都創造部は丹波篠山のまちづくりのエンジンとなる。
- 持続可能な農の都づくりを目指す。
- 経済・社会・環境の各面で「潤い」のあるまちをつくる。
- 黒豆栽培文化を中心に「日本農業遺産」の認定を目指す。

経済の
潤い

社会の
潤い

環境の
潤い

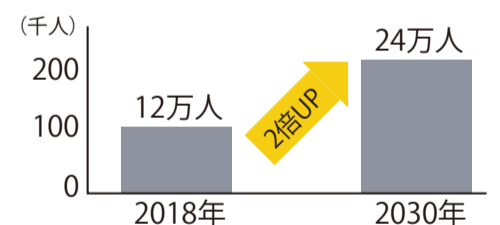
一以・維新の感想

所得向上・雇用創出をどのように成しとげるか方向性を示すべき。

丹波篠山観光まちづくり戦略(案・ポイント)

- 観光の目標「2030年宿泊者倍増」
- 4つの柱で観光振興(くろまめ宣言)
 - く…くらしの豊かさを楽しめるまち(デカンショ楽習・伝統工芸体験)
 - ろ…ローカルの魅力を発信するまち(SNSや動画活用・地域通訳士育成)
 - ま…毎日、ゆったり過ごせるまち(宿泊施設魅力アップ・早朝や夜間の観光メニュー)
 - め…めざすは、日本一、世界一(日本遺産やユネスコのネットワークを活用)

観光ブランド戦略目標 宿泊観光客の倍増



一以・維新の感想

計算上、観光で潤いを生み出すには、追加で観光客300万人/年、観光消費20%アップの目標設定が必要。

◆ ご意見・ご提案はこちらへ

郵送 669-2397 丹波篠山市北新町41
丹波篠山市議会事務局内 一以・維新 宛

メール 渡辺拓道 / nextsasayama@gmail.com
吉田知代 / yoshida223tomo@gmail.com

問い合わせ
丹波篠山市園田分239
渡辺拓道
電話090-7551-8324



◆ 一以・維新とは

これからの丹波篠山を考えると協力は必要との思いで、自民党員でありながらも無所属で活動する渡辺拓道と日本維新の会所属の吉田知代が「市政の問題」へ一緒に取り組む議会内会派です。

渡辺の保守的視点と吉田の女性視点や革新的アイデアで市政の諸問題にあたっています。



政党を超えて丹波篠山のために